

福島県産品販売等支援協力のお願

経済同友会では、震災復興支援の具
体的活動の一つとして、会員所属企業
による福島県産品販売等の協力をお願
いしています。

東京電力福島第一原発事故の影響に
より、依然として福島県産品に対する
風評被害が収まらず、また、福島県の

現状が正確に伝わっていないことによ
り、修学旅行を含む観光客数もいまだ
回復していません。

会員各位におかれましては、あらた
めて社内マルシェ(販売会)等の開催、
贈答品での活用、従業員食堂での食材
利用のほか、福島県の現状を伝える講

演会開催等、福島県を支援する取り組
みを積極的にご検討いただけますよう、
お願い申し上げます。

なお今回は、JXホールディングス、
明治安田生命保険、新日鉄興和不動
産、日本学生支援機構の福島県支援に
関する取り組みをご紹介します。

■JXホールディングス

福島県産品の販売会を開催 わずか二時間で、ほぼ完売の大盛況

JXホールディングスは、昨年11月19日、大手町のJX
ビル1階にて、福島県産品の販売会を開催した。会場には、
福島県産の銘酒や銘菓などが所狭しと並べられた。震災
復興委員会副委員長の高萩光紀相談役をはじめ、木村康
会長、松下功夫社長など、役員の方々も買い物に訪れ、
開始わずか30分程度で完売の県産品が続出した。お昼
休みを挟んだわずか二時間の開催にもかかわらず1,127
点、約52万円の売り上げであった。JXホールディングス
では、被災地ボランティア活
動を継続しており、これまで
31回実施している。復興支援
活動への意気込みが感じら
れた販売会であった。



■明治安田生命保険

福島県産品の社内販売会を開催。組合大会に 合わせて開催し、全国の社員にアピール

明治安田生命保険は、2月4日、丸の内MY PLAZA 1階
アトリウムにて、11時~19時の8時間にわたり、80品目
以上の福島県の農産物加工品等の販売会を行った。同社
労働組合の協力もあり、組合大会の日程に合わせて開催
され、当日は、全国の社員が集まる中、福島県産品のPR
が行われた。オープンスペースでの開催ということもあり、
社員だけではなく、一般の方も来場した。会場では、
会津民芸品“起き上がり小法師”を作るコーナーや、ふく
しま隊によるパフォーマ
ンス、福島県のキャラク
ターのキビタンとの触れ
合いもあった。売り上げ
は約100万円に上った。



■新日鉄興和不動産

福島県産品の社内販売会を開催 喜多方ラーメン、イチゴ・ふくはる香が大人気

新日鉄興和不動産は、2月17日、南青山の本社ビル内社
員食堂に隣接したコーナーを利用し、昼休み前後の時間
で社員向けの福島県産品の販売会を開催した。震災復興
委員会副委員長の成川哲夫相談役をはじめ、永井幹人社
長、北俊夫副社長なども購入に訪れ、多くの来場者で賑
わった。会場には物販コーナー(約50品目の商品を販売)
のほかに観光PRコーナーを設け、観光パンフレットを置
いた。物販コーナーでは、喜多方
ラーメンをはじめ、日本酒、あ
んぼ柿、福島ブランドのイチゴ
(ふくはる香)が大人気となった。
売り上げは約37万円に上った。



■日本学生支援機構

いわき市長講演会と 外国人留学生の福島スタディツアー

日本学生支援機構は、2月21日、東京国際交流館にて、
清水敏男いわき市長を招いて同市の震災復興への取り組
みをテーマとする講演会を開催した。諸外国より国費や
政府派遣などで日本に留学している学生を含む約150人
が参加した。3月5日、6日には参加留学生を対象に、福島
県スタディツアーを実施した。農産物の安全確認モニタ
リング検査見学、地元企業訪問などを実施し、留学生に
福島県の現状を理解してもらった貴重な機会となった。



本件に関するお問い合わせ・ご連絡は、下記担当者までお願いします。

震災復興委員会 担当：桧垣 TEL 03-3211-1271